

漢方の美しさ(三)

— 対薬理論 / 血虚からの展開 —

日時 2017年6月4日(日) 12:15~13:15

会場 名古屋国際会議場 第2会場 白鳥ホール①

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

座長

三谷 和男 先生

医療法人三谷ファミリークリニック 院長
公立大学法人 奈良県立医科大学
大和漢方医学薬学センター 特任教授

演者

松橋 和彦 先生

長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 内科

本セミナーは整理券制です。聴講希望の方は別途整理券をお取りください。

- 配布時間:6月4日(日)午前8:00から11:45(整理券がなくなり次第終了。残券がある場合、11:45以降は各会場前にて配布いたします。)
- 配布場所:1階アトリウム整理券配布所 *セミナー開始5分後、整理券は無効となります。時間前までにご入場ください。

共催

第68回日本東洋医学会学術総会 クラシエ 薬品株式会社

御挨拶

方剤の生薬構成には漢方の基礎理論、治療理論が表現されています。方剤学の学習は、多忙な臨床に従事する先生方にとり漢方全体を習得する近道です。

臨床上合理性をもった2味の生薬の組み合わせを対薬といいます。配合の最小単位である対薬の視点から方剤を理解することで、漢方の基礎から臨床までの学習はより効率的になります。

今回のランチョンセミナーで取り上げるのは血の方剤です。血は身体の実体的側面であり、機能的側面の気とともに身体をくまなくめぐります。血の不足を血虚といい、その瘀滞を血瘀といいます。血虚や血瘀からの回復には、それぞれの性質に応じた治法が必要となりますが、生薬の配合にはこの治法が合理的に反映されているのです。

またこのたびは、2組の対薬が立体的に複合した配合単位について「^{しごやく}四合薬」という名称の提案を行い、新しい方剤学を展望してまいります。



松橋 和彦 先生 御略歴

- ・ 1989年 群馬大学卒業
- ・ 1990年～1994年 中国に留学
- ・ 帰国後、地域医療研修を経て、
- ・ 1998年より現職。

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 内科
北相木村へき地診療所 所長

- ・ 資格

日本東洋医学会認定漢方専門医

